モビリティの未来 – EV革命の最前線

TATA CONSULTANCY SERVICES

EVエコシステムの構築やEV導入拡大において、リサーチ会社のEverest Groupは企業や組織が抱える課題や、どのようにして課題を乗り越えられるかについて調査を実施しました。調査対象：OEM、バッテリー技術提供社、インフラ提供社、規制機関、システムインテグレーターなど、自動車業界及び関連業界の59の企業や組織※



EVエコシステムの必要性 – 企業間・組織間の連携がもたらす力

80%

80%の企業・組織はEVエコシステムに参加する企業・組織の主な動機は、EV導入におけるコスト削減であると感じている

85%

85%の企業・組織は、2025年までにEV技術は民主化されることで研究開発費が削減され、イノベーションをもたらす企業の新規市場参入が容易になると感じている

企業・組織が抱える懸念

60%

60%の企業・組織は、EVエコシステムの参加・拡大における最大の課題は、特定の参加者による経済的インセンティブや利益の独占だと感じている

60%

60%の企業・組織は、EVエコシステムにおいての脅威は特定の企業・組織が独占権を持つことだと感じている（例：数少ないバッテリー製造会社が特定の企業のみに独占される）

43%

43%の企業・組織は、エコシステムの脅威は競争の激化でエコシステムが肥大化することで、自社の利益が減少することだと感じている

EVフリート充電エコシステム



最小限のエコシステムを設計するには、主要参加者を特定することが重要です

- 第1ステークホルダー層　（主要）
- 第2ステークホルダー層
- 第3 ステークホルダー層

EVエコシステムに対する期待と懸念

75%

バッテリー技術事業者の75%は、EVのインフラ関連事業は公益事業者やOEMなど、隣接業界の参加が多数を占めていると感じている

79%

システムインテグレーターの79%は、ブロックチェーンはEVエコシステムの構築と統治を可能にすると感じている

78%

政府指導者の78%は、EV導入における政府の役割は税額排除に限らず、消費者や事業者へのインセンティブの提供も含むと感じている

89%

EVの導入が進み、石油への依存が減少する中、政府指導者の89%は貿易政策と協定の再定義において政府は大きな役割を担うと感じている

54%

EV業界を牽引する会社の54%は、エコシステムにおいて主要参加企業が市場を独占し、他社を支配する構造にならないようなエコシステムの設計が必要だと感じている

81%

回答者の81%は、エコシステムは特定の企業が全体を管理するのではなく、エコシステムの参加企業が全体として成り立ち、拡大できるような設計が必要だと感じている

（※対象国：インド、米国）